

「町内のみなさん。おはようございます。日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。日頃よりあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。この場をお借りしまして、庄原市政の問題について、お訴えをさせていただきます。

さて、庄原市政の一番大きな問題は、財政危機の問題です。

その原因は、自民党、公明党の政府が、自治体の財源を大幅に削減してきたこと。大型建設事業優先の市政や町政のつけが、今になって、まわってきたこと。市議会や町議会がそれを充分チェックしてこなかったことにあります。私たちは、この財政危機をたてなおすためには、その大本をつくりだした自民党、公明党の政治に、来るべき総選挙でキッパリ審判を下すこと。そして、大型建設事業優先の市政を、市民のくらしをまもる市政に切りかえさせる必要があると考えています。

私たちは、そのために、みなさんと力をあわせ全力をつくしてまいります。

第二の問題は、出産医療の再開の問題です。

庄原赤十字病院での出産がストップして丸3年になります。「となりの三次市では遠すぎて不安だ、1日も早く日赤で出産医療を再開してほしい」これが、市民のみなさんの率直な声です。私たちは、医療行政に責任をもつ政府と、広島県に、責任ある対応を求め、都市部に集中している産婦人科医師を、庄原赤十字病院に派遣させるよう全力をつくしてまいります。

第三の問題は、少子化対策の一環として、第2子、第3子の保育料を軽減させる問題です。

現在は、兄弟がいっしょに入所していなければ第2子、第3子の保育料は安くなりません。私たちは、兄弟がいっしょに入所していなくても、第2子、第3子については、保育料を無条件に軽減させるよう全力をつくしてまいります。

第四の問題は、庄原中学校の耐震対策の問題です。

40年前に建てられた庄原中学校は、耐震診断の結果、地震にあうと崩壊することが明らかになっています。600人近い生徒と先生方が一日の大半を過ごし、地震の際には、市民の避難場所となる庄原中学校を、このまま放っておくわけにはいきません。私たちは、1日も早く、建替えるよう強く求めてまいります。

第五の問題は、派遣社員や臨時社員などの非正規雇用をなくし、若者に、未来を保障していく問題です。

現在、若者の2人に1人が、派遣、臨時などの非正規雇用になっています。こうした社会に未来はありません。私たちは、国民の運動と、国会での奮闘によって、若者に安定した仕事を保障し、非正規雇用をなくすため全力をつくしてまいります。

そのためにも、新しい政治の進路を指し示す、「しんぶん赤旗」のご購読と、ごんなどきにも、市民の立場でがんばる、私たち、日本共産党に、ひきつづき、大きなご支援をお寄せいただきますよう、心からお願いたしまして、私の、お訴えとさせていただきます。